



北海道札幌北高等学校
校長 武内 光一
(北高10期)

母校の校長として渾身の力を奮いたい

明治35年、20世紀初頭の北海道庁立札幌高等女学校誕生から始まる札幌北高の歴史は、もうすぐ100年を迎えようとしております。この20世紀最後の同窓会が札幌パークホテルで盛会のうちに開催されますことを心からお慶び申し上げます。

私事とはなりますが、本年4月に恵庭北高から札幌北高に第22代目の校長として赴任以来、あっという間の4カ月が過ぎ、気持ちを新たにしてこの伝統の重さを噛みしめて、来るべき21世紀への思いを馳せているところであります。顧りみますと、私も同窓でありますとともに、家族4人がすべて北高卒業生という家庭であります。多感な青春時代の3年間をこの学校で鍛えられ、今も変わらぬ交友を続けておりますことも同窓の一人として、諸先輩に感謝申し上げますとともに、私どもを育てくださった諸先生方に改めて敬意を表する次第であります。20世紀を締めくくり、新しい時代へ向かう今、私と致しましても、母校の校長として教職人生を全うできますことは、この上ない光栄であり、幸運なことと考えております。

さて、1世紀の時の流れは、北海道内はもとより国の内外で活躍する4万名に至らんとする有為の人材を輩出してまいりました。また、庁立高等女学校以来の歴史と伝統も脈々として今日に伝えられております。今や、全国でも有数の進学校となった北高ですが、さらなるレベルアップを図るとともに、部活動や生徒会活動、学校行事等の一層の充実を図って、心豊かにたくましく生きる「真のエリート」の育成を目指しております。

後輩でもある生徒のために微力ではありますが、渾身の力を奮ってがんばりたいと思いますので、一層のご支援をお願い申し上げます。